

日本発達障害支援システム学会 2018年度 研究大会・研究セミナー

= 発表論文集 =

= 大会テーマ =

発達障害者のキャリア教育と生涯発達、 ICD-11による診断を学ぶ

●平成 30 年 12 月 16 日 (日) 12:00~17:00

●目白大学 新宿キャンパス
東京都新宿区中落合 4-31-1

主催:日本発達障害支援システム学会
2018 年研究セミナー・研究大会実行委員会

ご挨拶

メインテーマ

「発達障害者のキャリア教育と生涯発達、ICD-11による診断を学ぶ」

日本発達障害支援システム学会第17回(2018年度)研究大会・研究セミナーを、2018年12月16日(日)に、目白大学新宿キャンパスを会場にお借りして開催する運びとなりました。

東京都では2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、“ダイバーシティ tokyo”を一つの柱に据えて、多様性社会を包括する街づくりと都民の意識変革を進めています。このことは、様々な障害のある人たちの自立と社会参加にとって格好の追い風です。障害者理解が大きく進もうとしている現代、今回の大会においても日頃の皆さまの成果を持ち寄り、その一翼を担えればと考えています。

また、ご存じのとおり学習指導要領が改訂されました。新学習指導要領では“主体的で対話的で深い学び”つまりアクティブラーニングが強く打ち出されました。この背景には10年後の日本がどうなるのかについて考えられたということがあります。10年後の日本を見据えて、AIやICTの進化、ロボット工学の発展とともに、少子高齢化、外国人労働者の受け入れなど社会構造の変化に対応していくことが求められているからです。これは当然、特別支援教育や障害者支援に大きくかかわってくる課題です。

これらを踏まえ、大会のメインテーマを「発達障害者のキャリア教育と生涯発達、ICD-11による診断を学ぶ」とさせていただきます。キャリア教育やICD-11など最新の情報について学ぶとともに、会員の皆さまより様々な研究や実践について報告いただき、ともに高めあう大会にしていきたいと思っております。当日、皆様と会場でお会いできることを心待ちにしております。

2018年12月

日本発達障害支援システム学会

第17回研究セミナー／研究大会準備委員会

実行委員長 諏訪 肇

会場へのご案内

目白大学 新宿キャンパス

〒161-8539 東京都新宿区中落合 4-31-1

■交通案内

(1) JR 山手線「高田馬場」駅にて乗換え、西武新宿線「中井」駅下車（徒歩約 8 分）

※西武新宿線「中井」駅へは「各駅停車」にお乗り換えください。

(2) 都営地下鉄大江戸線「中井」駅下車（徒歩約 8 分）

「落合南長崎」駅（徒歩約 10 分）

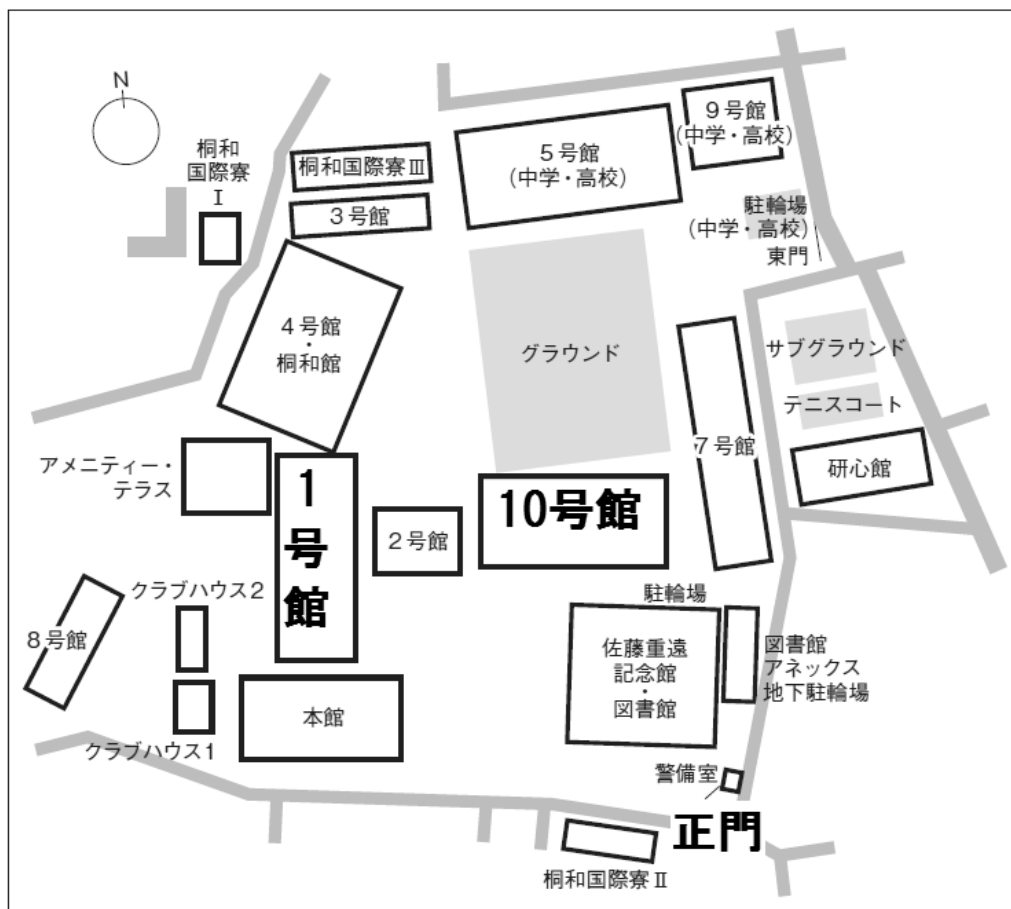
(3) 東京メトロ東西線「落合」駅下車（徒歩約 12 分）



■最寄駅からのアクセス

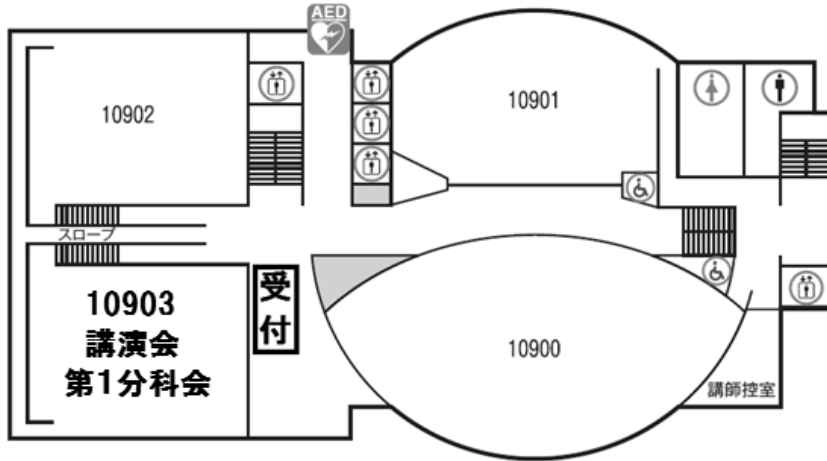


構内案内【目白大学 新宿キャンパス】

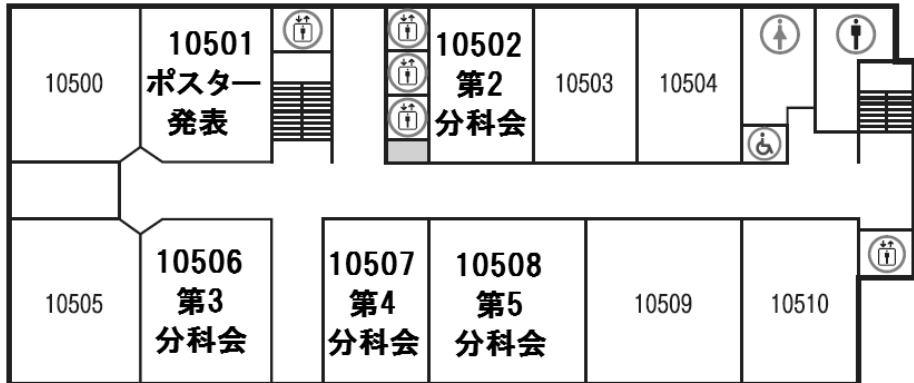


会場配置図

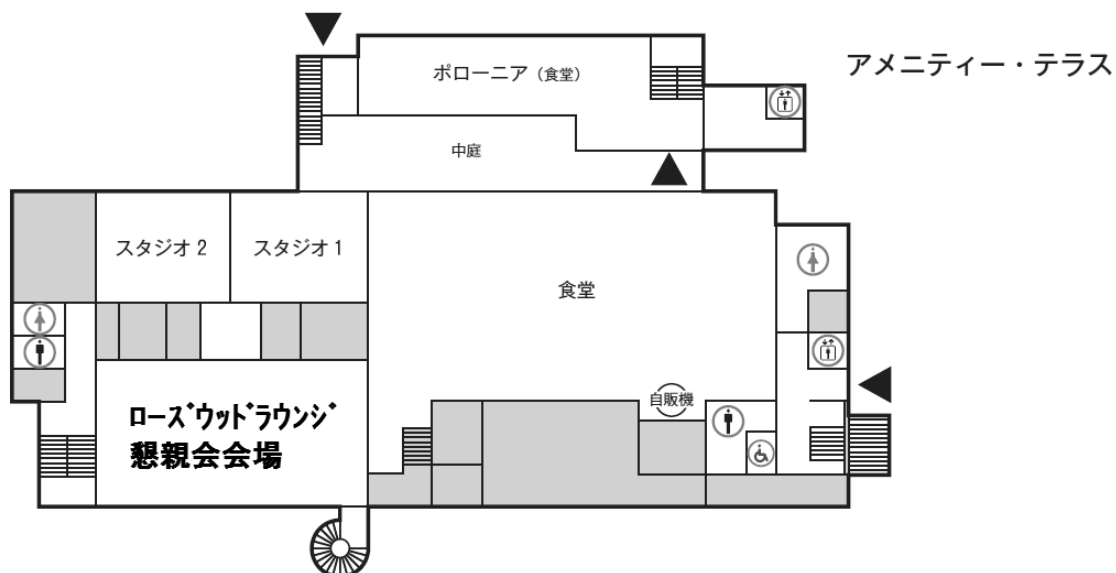
◆10号館9階:受付・講演会・第1分科会 会場



◆10号館5階:第2・3・4・5・ポスター発表分科会 会場



◆1号館地下 ローズウッド・ラウンジ 懇親会 会場



会場案内

10号館9階

- ・受付 (10903 教室前) 【11:40~】
- ・教育講演 I (10903 教室) 【12:10~13:00】
- ・教育講演 II (10903 教室) 【13:10~14:00】
- ・教育講演 III (10903 教室) 【14:10~15:00】
- ・第1分科会 【15:10~17:00】

10号館5階

- ・第2分科会 (10502 教室) 【15:10~17:00】
- ・第3分科会 (10506 教室) 【15:10~17:00】
- ・第4分科会 (10507 教室) 【15:10~17:00】
- ・第5分科会 (10508 教室) 【15:10~17:00】
- ・ポスター発表 (10501 教室) 【掲示 15:10~17:00 ;
在席奇数番⇒15:10~16:05
偶数番⇒16:05~17:00 16:00~17:00】

1号館地下1階 ローズウッド・ラウンジ

- ・懇親会 【17:30~19:00】

参加者へのご案内

I 受付

1. 大会期間中は受付でお渡しする参加章(氏名・所属を記入したもの)をお付けください。
参加章は大会参加費の受領証を兼ねています。

2. 受付場所は教育講演会場(10号館9階10903教室)前です。
受付間は11:40からです。

3. 参加費等は以下の通りです。

参加費: 事前申込の場合 3,000円(11/30まで)

当日参加の場合 3,500円

(いずれの参加費にも論文集代が含まれます。論文集は当日受付でお渡しします。)

発表費: 1演題あたり 1,000円

懇親会参加費: 事前申込の場合 3,000円(11/30まで)

当日申込の場合 4,000円

※事前申込の方は予め指定先にお振込み下さい
(12/1まで)

※当日参加の方は受付でお支払いください。

	事前申込受付 (11/30まで)	当日参加
参加費	3,000円	3,500円
発表費	1,000円	—
懇親会費	3,000円	4,000円

↓ ↓
12/1までにお振込 当日受付でお支払

II 会場関係

1. 喫煙

大学の構内では分煙措置を実施しております。

喫煙は建物外の喫煙指定場所をお願いします。

2. 駐車場

駐車スペースはありませんので、お車でのお越しはご遠慮ください。

III 懇親会

各分科会・ポスター発表終了後の17:30から1号館地下1階 ローウッド・ラウンジにて行います。懇親会は当日も参加受付をしますが、人数に限りがありますので、できるだけ事前に お申込みください。

参加費は3,000円です(当日参加の場合4,000円になります)。

IV 連絡先

会期前，会期中ともに，大会準備委員会（実施本部）への連絡は下記まで，電子メールまたはFAX(会期中を除く)でお願いします．実施本部では，常にメールチェックをおこないます．

日本発達障害支援システム学会 2017 年度大会準備委員会

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

東京学芸大学教育実践研究支援センター内

FAX 042-329-7678

電子メール jasssdd@u-gakugei.ac.jp

研究発表者へのご案内

【口頭発表】

1. 発表時間

- 1) 発表時間は1発表につき15分で、質疑応答の時間3分が含まれます。
- 2) ご自身の発表時間以外は、他の分科会場やポスター会場にいらっしゃっても構いません。但し、学会場から出てしまうことはご遠慮下さい。終了時刻の17:00まではご参加頂くことが義務づけられます。
- 3) 進行係が以下のように時間経過をお知らせします。

発表開始後10分：1鈴

12分：2鈴(発表終了)

15分：3鈴(質疑応答終了・交替)

2. 発表用機器

発表にパソコンを使用する方は、発表データを USB 接続フラッシュメモリに保存し、セッション開始前までに会場にお越し下さい。パソコンは、Windows 7 (パワーポイント 2010) を用意いたします。なお、Macintosh 版データや動画などが含まれるデータは、映像に支障をきたす場合がありますので、パソコンをご持参下さい。

(プロジェクタとの接続には、標準的なミニ D-SUB15 端子 (アナログ) を使用します)。

3. 座長の方へ

- 1) 座長の方は担当セッションの司会・進行をお願い致します。特に制限時間を厳守するようにお願い致します。
- 2) 各セッションに2名の座長をお願いしています。欠席の場合には新たに座長を決定しますので、前日までに E-mail にて大会準備委員会に必ずご連絡ください。

4. 質疑・討論について

質疑や意見を述べる際には、はじめに所属・氏名を明らかにしてください。また、30秒以内に簡潔にお願いします。その他、座長の指示に従って、セッションの進行に支障がないようにしてください。

5. その他

- 1) 座長及び発表者は、セッション開始5分前までに当該分科会場に在席してください。
- 2) 研究発表の資料は発表論文集をあてるのが原則ですが、補足資料の配布が必要な場合には、事前に発表者が必要部数を用意し、各会場の資料配布台に置いてください。

【ポスター発表】

1. 発表者は、発表時間中ポスターを掲示すると同時に指定された時間出席し、参加者と質疑応答することにより、正式発表とみなされます。
2. 発表者は、総合受付にて発表受付を済ませ、発表開始5分前までにポスターの掲示を完了してください。
3. 掲示時間は15:00～17:00
在席責任時間は、奇数番号⇒15:10～16:05、偶数番号⇒16:05～17:00 となります。
ポスターは壁またはパーテーションに掲示してください。
4. ポスター掲示範囲は横幅80cm×縦150cm以内が適当です。ポスターの最上部には、発表題目(フォントサイズ目安:72ポイント)、発表者氏名(筆頭発表者に○を付ける)、及び所属を明示してください。本文は全紙、または何枚かに分けて貼る等の方法で掲示してください。文字の大きさや図、表の作成には特に注意してください。混み入った図や表の使用を避け、2m離れたところから全体を読めるようにしてください。
5. 掲示用のセロハンテープ・押しピン等は会場内に用意してあります。
6. 当日資料を配布される方は、各自で必要部数を用意し、配布してください。個人情報との関係で、資料回収を必要とする場合は、発表者が責任をもって回収、処分してください。
7. 発表時間が終了したら、直ちにポスターを撤去してください。

大会スケジュール

12月16日(日)

会場 10号館 9・5階	10903教室	10502教室	10506教室	10507教室	10508教室	10501教室
11:40	受付開始(会場前)					
12:00	開会挨拶					
12:10	教育講演Ⅰ 講師 諏訪 肇 東京都立志村学園 校長					
13:00						
13:10	教育講演Ⅱ 講師 有賀 道生 社会福祉法人青い鳥 横浜市東部地域療育 センター 所長・医師					
14:00						
14:10	教育講演Ⅲ 講師 矢島 卓郎 目白大学 人間学部人間福祉学科 大学院生涯福祉研究科 教授					
15:00						
15:10	第1分科会 コミュニケーション 支援領域	第2分科会 生活支援 領域	第3分科会 遊び・学習 支援領域	第4分科会 自立・就労 支援領域	第5分科会 支援システム 領域	ポスター 発表A・B 分科会 掲示:15:10~17:00 発表者在席時間 奇数番⇒15:10~16:05 偶数番⇒16:05~17:00
17:00						
17:30	懇親会 (1号館地下1階 ローズウッド・ラウンジ)					
19:00						

プログラム案内

＝第1部＝（会場：10号館9階10903教室）

教育講演 I 12:10～13:00

『都立知的障害特別支援学校のキャリア教育と高校支援
ー今後のキャリア教育の方向性、高校生段階の障害の多様性、
地方の高校支援の困難性にどう向き合うかー』

【講師】

諏訪 肇（東京都立志村学園 校長）

【講演者プロフィール】

1962年(昭和37年)東京都生まれ。1986年より2年間私立学校で教員をしたのち、1988年入都。都立村山養護学校、光明養護学校、高島養護学校3校で教諭として勤務し、その後、東京都教職員研修センター指導主事、都立調布養護学校副校長、東京都西部学校経営支援センター統括支援主事、指導部義務教育特別支援教育指導課統括指導主事、都立青峰学園校長、東京都中部学校経営支援センター学校経営支援担当課長を経て、現在の都立志村学園統括校長となる。

【主な著書(いずれも分担執筆)】

- 2011年 「夢と可能性を実現につなげるキャリア教育 ～パソコン入力技能検定マニュアル・喫茶接遇サービス指導マニュアル～」 東京都教育委員会
- 2011年 「評価で伸ばす授業力」(肢体不自由教育 No.201)
日本肢体不自由教育研究会
- 2013年 「障害の重い子どもの授業づくり Part 5～キャリア発達をうながす授業づくり～」
ジアース教育新社
- 2018年 「自立活動～知肢併置校における道徳と合わせた授業で自分の考えを適切に伝える力を向上させる～」(実践障害児教育 2018年8月号)学研
etc.

【昨年度の講演等】

- 2017.6 「アクティブラーニングを用いた効果的な授業について」
都立小笠原高校
- 2017.6 「障害者差別解消法と合理的配慮」
都立八丈高校
- 2017.7 「自殺防止対策について」平成 29 年度第 1 回副校長教育施策協議会
- 2017.7 「発達障害のある生徒に対する学習指導について」都立稔ヶ丘高校
- 2017.8 「島しょ地区の高等学校における知的障害・発達障害等のある生徒への対応について」島しょ地区教員対象軽度障害対応情報交換会
- 2017.8 「学校経営支援センターと都立学校の連携と役割について」
選抜校長研修
- 2017.9 「特別な支援を要する生徒への支援～学校間・関係機関との連携、外部人材の活用～」
中部学校経営支援センター特別支援教育コーディネーター連絡協議会
- 2017.9 「教職大学院での学びを現職教員はどのように活かしているか」
日本特殊教育学会 自主シンポジウム指定討論者
- 2017.11 「不登校への対応」平成 29 年度第 2 回副校長教育施策協議会
- 2017.12 「高校における「授業UD化シート」を活用した授業改善」
※共同発表 日本発達障害支援システム学会
- 2018.3 「障害者差別解消法と合理的配慮」
平成 29 年度第 3 回副校長教育施策協議会

司会：菅野 敦（東京学芸大学教育実践研究支援センター 教授）

教育講演Ⅱ

13:10～14:00

『ICD-11 と発達障害診断』

【講師】

有賀 道生 (社会福祉法人 青い鳥 横浜市東部地域療育センター 所長)

【講演者プロフィール】

2001年(平成13年)群馬大学医学部医学科卒業。同年、群馬大学医学部附属病院 精神科神経科(研修医)。2003年群馬大学大学院医学系研究科 神経精神医学分野 入学し、「少年非行と心的外傷・PTSD」を主要研究テーマとして研究。2007年群馬大学大学院医学研究科神経精神医学分野を卒業し、医学博士号取得する。(Trauma exposure and posttraumatic stress disorder in delinquent female adolescents) 同年、群馬大学医学部附属病院 精神科神経科(医員)、2008年群馬大学医学部附属病院 精神科神経科(助教)、2009年独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の診療部長に就き、児童思春期臨床を中心に、重度知的障害者支援、特に強度行動障害ケースや高齢期特有の問題(認知症など)にも取り組む。2018年現在の社会福祉法人 青い鳥 横浜市東部地域療育センター 所長に就く。

【主な著書】

- 2018.4 「対人関係をめぐる精神科臨床 知的障害における対人関係の問題」
精神科治療学 Vol.33(4)
 - 2017.10 「こどもたちがおしえてくれたこと」 国立のぞみの園 有償刊行物
 - 2016.4 「いじめへの対応ー学校と精神科医療の役割ー」
精神科治療学 Vol.31(4) 学校と精神医学Ⅰ.
 - 2016.2 「くらしの中の心理臨床2 パーソナリティー障害 対人関係トラブル
の解決への歩み」 福村出版
 - 2014.10 「発達障害ベストプラクティスー子どもから大人までー 発達障害と少年
非行・犯罪 分担執筆」 精神科治療学 Vol.29 増刊号
 - 2014.4 『子ども臨床トピックス』知的障害者の自傷行為について」 分担執筆
そだちの科学 22号
- etc.

【学会・資格】

所属学会：日本精神神経学会

日本児童青年精神医学会

日本発達障害学会（評議員）

資格：日本精神神経学会 精神科専門医

司会：霜田 浩信（群馬大学教育学部 教授）

教育講演Ⅲ

14:10～15:00

『ある発達障害青年の成長の軌跡 —3歳から25年間を顧みて—』

【講師】

矢島 卓郎

(目白大学人間学部人間福祉学科・大学院生涯福祉研究科・教授)

【講演者プロフィール】

1977年東京教育大学教育学部特殊教育学科卒業、1979年東京学芸大学大学院教育学研究科修了。1980年より港区立教育センターなどで教育相談員を経て1990年から島田療育園(現センター)リハビリテーション部臨床心理科心理判定員・地域サポートセンター企画室長・支援部生活支援室長、その間1994年から東京学芸大学教育学部非常勤講師。2006年から現職。この間、研究科長、人間学部長を歴任、現在、学校法人目白学園理事(兼務)。

教育相談員の頃から発達障害児などに対する心理臨床をほぼそと継続。研究は、生理指標や行動観察の視点から重症心身障害児(者)の療育について思考している。

【主な著書】

- 2018年 「フィンランド紀行—体感音響療法の故郷を訪ねて—」
目白大学教育研究所
 - 2016年 「新エッセンシャル児童・家庭福祉論(第3版)／障害のある子どもの福祉」
みらい
 - 2015年 「小児内科／重症心身障害1／拡大・代替コミュニケーション」
東京医学社
 - 2009年 「自閉症児の発達と教育」(共訳)
二瓶社
- etc.

【主な社会活動】

- 2018年 第25回重症心身障害児(者)QOL向上懇話会「重症児(者)のQOL向上をめざした取り組みを省みて」(東京女子医科大学／講演)

司会：林 安紀子(東京学芸大学教育実践研究支援センター 教授)

＝第2部＝

第1分科会＝コミュニケーション支援領域＝(10号館 10903教室)

座長：菅野和恵(東海大学)・林安紀子(東京学芸大学)

- 1-1 『集団の中で子どもの力を伸ばすために』
鈴木美代, 戸井田久栄(三鷹市子ども発達支援センターくるみ幼稚園)・
菅野敦(東京学芸大学)
- 1-2 『ASD児を対象としたゲームで負けた場面に対する適応行動の獲得』
小笠原忍(明星大学大学院)・竹内康二(明星大学)
- 1-3 『感情コントロールが上手になった児童の感情表出の変容』
瀧上真裕美(特定非営利活動法人 発達支援研究所スプラウト)
- 1-4 『場面緘黙の状態を呈する児童に対する支援の効果について』
渡辺遥, 綿引清勝(東京都立南花畑特別支援学校)・
今和泉那美(東京都立清瀬特別支援学校)・
森雄一(一般社団法人 療育塾 ドリームタイム)
- 1-5 『授業を飛び出してしまう生徒への「関わらない関わり方」』
西岡範朗(東亜大学大学院)
- 1-6 『集団活動に課題のある生徒への対応について』
岸なつき(東京都立南大沢学園)
- 1-7 『ダウン症のある生徒の書記表現の発達に関する事例的検討』
菅野和恵(東海大学)

第2分科会 =生活支援領域=(10号館 10502教室)

座長：大伴潔(東京学芸大学)・堂山亞希(目白大学)

- 2-1 『朝の「おしたく」の自立を目指す取り組み』
水野怜美, 佐藤淑美(社会福祉法人 武蔵野千川福祉会)
- 2-2 『ダウン症幼児の生活習慣への家庭での取組と他人との関わりの行動との関係性について』
佐々木可愛, 松本咲子(東京学芸大学大学院)・今枝史雄(大阪教育大学)・菅野敦(東京学芸大学)
- 2-3 『中学生の的確な実態把握と支援に向けた検討』
山口遼(東京学芸大学大学院)
- 2-4 『壮年期・中年期を迎えたダウン症者への支援方法の検討』
半田進二, 斗舛もも子, 藤木麗音, 小林倫(社会福祉法人 湘南の風 もやい)
- 2-5 『地域における子ども発達支援センターの役割』
山下佳恵, 戸井田久栄, 菅野敦(三鷹市子ども発達支援センターくるみ幼稚園)
- 2-6 『知的障害者支援施設における利用者の生活の豊かさを求めて』
古家奈美(社会福祉法人 かしの木会 くず葉学園)
- 2-7 『ダウン症児・者の場面別の行動及びその変化に関する研究』
金野楓子, 松本咲子(東京学芸大学大学院)・今枝史雄(大阪教育大学)・菅野敦(東京学芸大学)

第3分科会 =遊び・学習支援領域=(10号館 10506教室)

座長：真鍋健(千葉大学)・爲川雄二(東北大学)

- 3-1 『漫画タスクカードを用いた微細運動の指導支援』
中島裕美(北綱島特別支援学校)・森山剛(東京工芸大学)・
雨宮由紀枝(日本女子体育大学)
- 3-2 『「遊びの指導」の実践と研究の往還をめぐる今日の課題』
真鍋健(千葉大学)
- 3-3 『科学絵本を通しての幼児の環境指導法』
早川礎子(小田原短期大学)
- 3-4 『国語科 modification 教材に係る研究』
笠井渚沙, 秋元雅仁(皇學館大学)
- 3-5 『学習活動場面における支援が必要な児童の援助要請アセスメント尺度の開発にむけた実践』
杉岡千宏(東京学芸大学大学院連合学校)
- 3-6 『知的障害特別支援学校における情報モラルの指導』
爲川雄二(東北大学)
- 3-7 『パラリンピック教育に関する実践的研究』
永田悠祐(順天堂大学大学院)

第4分科会 =自立・就労支援領域=(10号館 10507教室)

座長：尾高邦生(筑波大学附属大塚特別支援学校)・
原智彦(あきる野市障がい者就労・生活支援センターあすく)

- 4-1 『トラブルを学びに変えて、夢は結婚』
市村たづ子(NPO 秋川流域生活支援センター あすく)・小島勇太
- 4-2 『自尊感情と心の理論獲得の関係についての検証』
山口美範, 伊藤浩(社会福祉法人 幸会)
- 4-3 『発達障害者に係る機関支援ツール開発へ向けた一考察』
藤代渉史, 菊池一美(社会福祉法人 湘南の風)
- 4-4 『都立知的障害特別支援学校のキャリアガイダンスの授業』
神子雅行, 小林史子, 中村かおり(東京都立青峰学園)・
南幸恵(M's ライフデザイン)・小笠原まち子(株式会社パソナハートフル)
- 4-5 『成人期知的障害者の就労に向けた機能の検討』
松本咲子(東京学芸大学大学院)・今枝史雄(大阪教育大学)・菅野敦(東京学芸大学)
- 4-6 『高機能自閉スペクトラム症者の職場定着を支える企業の組織風土および取り組み』
大嶋玲未(目白大学)・浦野由佳(日本社会事業大学)
- 4-7 『障がい児・者の働く態度に関する研究』
小笠原拓, 岡本孝伸(株式会社ドコモ・プラスハーティ)・
伊藤浩(社会福祉法人 幸会)・菅野敦(東京学芸大学)

第5分科会 =支援システム領域=(10号館 10508教室)

座長：霜田浩信(群馬大学)・伊藤浩(社会福祉法人幸会)

- 5-1 『発達障害幼児の就学移行支援グループの実践』
井上剛(東京学芸大学大学院)・田口悦津子, 仲野真史(東京学芸大学附属特別支援学校)・
橋本創一, 大伴潔, 林安紀子(東京学芸大学)
- 5-2 『障害児に関わる放課後保障制度の様相に関する検討』
河端歩(神奈川県立津久井養護学校)・今枝史雄(大阪教育大学)・
松本咲子(東京学芸大学大学院)・菅野敦(東京学芸大学)
- 5-3 『知的障害児童生徒の実態把握における教員の見立ての専門性の検討』
高柳真由美(埼玉県立和光南特別支援学校)・尾崎啓子(埼玉大学)
- 5-4 『関係機関と連携した不登校生徒への支援』
馬場幸子(東京学芸大学)・辻村洋平(東京都立青峰学園)・高木幹也(教育庁)・
原智彦(あきる野市障がい者就労・生活支援センター あすく)
- 5-5 『高校生を対象としたストレス・マネジメント教育実践の検討』
日下虎太郎, 山中小枝子(東京学芸大学大学院)・三浦巧也(東京農工大学)
- 5-6 『個別の教育支援計画「本人の願い」欄と「願い」の次元化に関する研究』
野村知宏(千葉大学教育学部附属特別支援学校)
- 5-7 『教育と福祉と家庭との連携について』
増澤貴宏(長野県稲荷山養護学校)

ポスター発表分科会 A (10号館 10501 教室)

座長：渡邊貴裕(順天堂大学)

- PA-1 『モンゴルにおける障害のある子どもの早期発見・発達支援』
西村久美子, 櫻井良平(株式会社 コーエイリサーチ&コンサルティング)・
菅野敦(東京学芸大学)
- PA-2 『発達につまずきがある幼児に対する在宅訪問の介入効果についての一考察』
森雄一(一般社団法人 療育塾ドリームタイム)・
綿引清勝, 渡辺遥(東京都立南花畑特別支援学校)・
今和泉那美(東京都立清瀬特別支援学校)
- PA-3 『発達障害児者のきょうだいが家族から受ける影響』
吉田咲恵(東京学芸大学大学院)・佐野秀樹(東京学芸大学)
- PA-4 『体育授業における指導形態と運動学習時間の関連について』
綿引清勝(東京都立南花畑特別支援学校)
- PA-5 『肢体不自由のある子どもへのアダプテッド体育の実践報告』
滝野彩(東京都立多摩桜の丘学園)・綿引清勝(東京都立南花畑特別支援学校)
- PA-6 『パラリンピック教育の課題研究』
吉原奈美(順天堂大学大学院)・渡邊貴裕(順天堂大学)
- PA-7 『学習そのものへの不安がある中学生への学習支援』
山中小枝子(ながやまメンタルクリニック)・三浦巧也(東京農工大学)
- PA-8 『不登校だった自閉症スペクトラム男児への作業療法』
荻原萌, 室田由美子(株式会社 東京リハビリテーションサービス)・
竹中佐江子(東京リハビリ訪問看護ステーション)
- PA-9 『障害学生の教育実習におけるサポートニーズの検討』
熊谷亮, 相澤宏充(福岡教育大学)

ポスター発表分科会 B (10号館 10501教室)

座長：三浦巧也(東京農工大学)

- PB-1 『集団活動への参加が困難な成人期重度知的障害者へのアプローチ』
坂口麻衣子, 矢部帆乃, 剣持勇氣(社会福祉法人 龍鳳)・
伊藤浩(社会福祉法人 幸会)
- PB-2 『成人期知的障害者の知能の加齢変化に関する研究』
小野田実恵, 松本咲子(東京学芸大学大学院)・今枝史雄(大阪教育大学)・
菅野敦(東京学芸大学)
- PB-3 『知的障害福祉における措置制度への再考察』
岡本健, 小林倫(社会福祉法人 湘南の風)・菅野敦(東京学芸大学)
- PB-4 『私立中学生の特別な支援ニーズの実態調査』
三浦巧也(東京農工大学)・日下虎太郎(目黒学院中学・高等学校)・
山中小枝子(ながやまメンタルクリニック)・仲野栞(東京学芸大学大学院)
- PB-5 『特別支援学校における ICT 機器活用推進の取り組み』
辻村洋平(東京都立青峰学園)・爲川雄二(東北大学)
- PB-6 『知的障害特別支援学校の学校教育相談体制に関する全国調査』
仲野栞, 林安紀子, 橋本創一, 大伴潔, 李受眞(東京学芸大学)・渡邊貴裕(順天堂大学)・
尾高邦生(筑波大学附属大塚特別支援学校)・霜田浩信(群馬大学)・熊谷亮(福岡教育大学)
- PB-7 『特別支援教育教師・障害福祉支援職の障害と支援に関する理解・知識の習得に関する
研修のあり方について』
和知真由(東京学芸大学大学院)・林安紀子, 橋本創一, 大伴潔, 菅野敦(東京学芸大学)・
江上尚志, 清野弘子(公益財団法人日本ダウン症協会)
- PB-8 『韓国の知的障害特別支援学校のカリキュラムの現況と課題に関する事例的検討』
李受眞, 橋本創一, 杉岡千宏, 柘千晶(東京学芸大学)・
尾高邦生(筑波大学附属大塚特別支援学校)

日本発達障害支援システム学会

2018年度 研究セミナー・研究大会 大会実行委員会

- 実行委員長 諏訪 肇（東京都立志村学園）
- 事務局長 堂山 亜希（目白大学）
- 実行委員 伊藤 浩（社会福祉法人 幸会）
(五十音順) 今枝 史雄（大阪教育大学）
大伴 潔（東京学芸大学）
尾高 邦生（筑波大学附属大塚特別支援学校）
菅野 敦（東京学芸大学）
霜田 浩信（群馬大学）
爲川 雄二（東北大学）
橋本 創一（東京学芸大学）
林 安紀子（東京学芸大学）
平井 威（明星大学）
細川 かおり（千葉大学）
三浦 巧也（東京農工大学）
横田 圭司（ながやまメンタルクリニック）
渡邊 貴裕（順天堂大学）
- 大会事務局 枺 千晶（東京学芸大学）
杉岡 千宏（東京学芸大学）
李 受眞（東京学芸大学）
西村 裕子（日本発達障害支援システム学会事務局）

<大会会場>

目白大学 新宿キャンパス

〒161-8539 東京都新宿区中落合 4-31-1

<大会事務局>

日本発達障害支援システム学会

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1（東京学芸大学教育実践研究支援センター内）

E-mail : office@jasssdd.org

Homepage : <http://www.jasssdd.org>